

# 道路の整備

## 新潟県の高規格幹線道路（高速道路）

### 【高規格幹線道路とは】

新潟県では「高速自動車国道」のことを言います。全国的な自動車交通網を構成する自動車専用道路であり、ネットワークを形成することで本県と他地域との連携を強化します。

### 【県内の高規格幹線道路について】

新潟県内の高規格幹線道路は5路線あり、昭和53年9月21日の北陸自動車道・新潟西IC～長岡IC間の供用に始まり、令和5年3月末現在、供用延長は441km（全国2位）、供用率は93%（整備計画延長475km）となっています。

平成23年3月27日には、日本海東北自動車道の神林岩船港IC～朝日まほろばIC間が開通するなど着実に整備が進んでいます。また、朝日まほろばICから山形県あつみ温泉IC間は平成24年に計画段階評価、都市計画決定を終え、平成25年5月15日より「朝日温海道路」として事業化されました。

路線名 (法廷路線名)	計画 全長	県内分			インター チェンジ	スマート インター チェンジ
		整備 計画	供用 延長	供用率		
北陸自動車道 (北陸自動車道)	487	196	196	100%	15	5
関越自動車道 (関越自動車道新潟線)	256	92	92	100%	8	2
上信越自動車道 (関越自動車道上越線)	203	34	34	100%	3	1
磐越自動車道 (東北横断自動車道 いわき新潟線)	213	61	61	100%	5	1
日本海東北自動車道 (日本海沿岸 東北自動車道)	322	(92) 58	58	(63%) 100%	9	2
合計	—	(475) 441	441	(93%) 100%	40	11

※( )は、朝日温海道路「朝日まほろばIC～県境」約34kmを含めた延長



高速道路の名称

上段 : 東日本高速道路株式会社が決定する道路名称  
下段 ( ) : 国土開発幹線自動車道建設法の路線名

供用区間	調査区間	その他区間
供用区間(暫定2車)	候補路線	高規格幹線道路(高速道路)
4車線化等整備区間	高規格幹線道路に並行する 一般国道自動車専用道路	高速自動車国道に並行する 一般国道自動車専用道路(整備区間)
事業中区間 (高速自動車国道に並行する 一般国道自動車専用道路)	インターチェンジ フル、ハーフ	インターチェンジ・スマートIC
スマートIC フル、ハーフ		

(令和5年3月末現在)

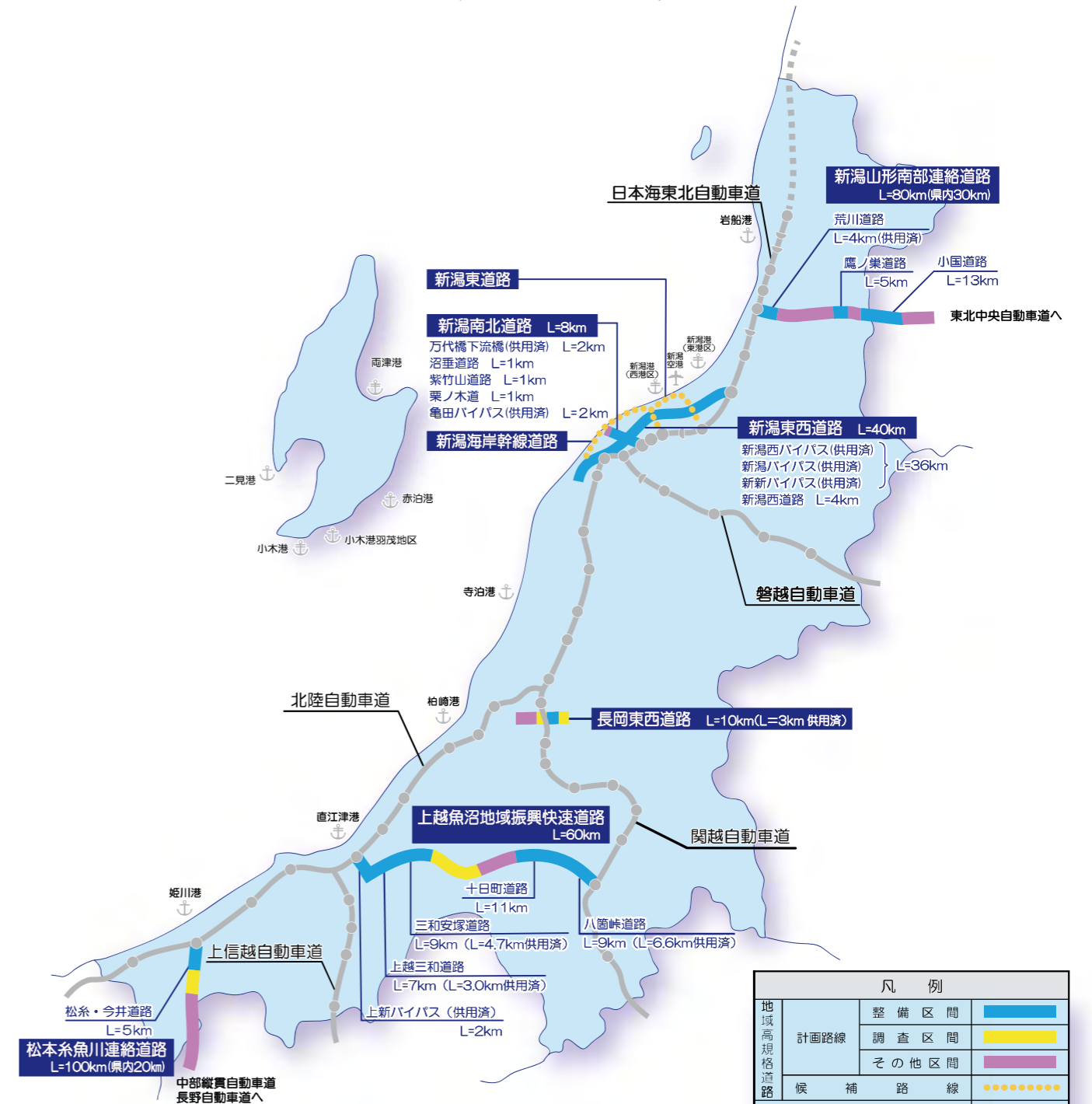
## 新潟県の地域高規格道路

### 【地域高規格道路とは】

全国レベルの高規格幹線道路と一体となって地域相互の交流や空港・港湾への連絡等を強化する道路です。

### 【県内の地域高規格道路について】

新潟県においては、「候補路線」2路線、「計画路線」6路線・延長約168km（県内）が指定されており、そのうち63kmが供用されています。



地域高規格道路	計画路線	整備区間	調査区間	その他区間
	候補路線	高規格幹線道路(高速道路)		
		高速自動車国道に並行する 一般国道自動車専用道路(整備区間)		
	インターチェンジ	スマートIC		

(令和5年3月末現在)